

平成 29 年 9 月 4 日

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略について（検証結果）

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生本部
本部長 広瀬 栄 様

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略
検証委員会委員長 畑 正夫

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略の進捗状況につき、平成 29 年 7 月 24 日に開催された第一回検証委員会をはじめとして、本委員会にて検証を行ったところ、概ね妥当なものとの結論に達しましたので、下記の意見を付して報告いたします。

記

一 全体について

本委員会による検証結果に基づき、来年度予算の編成に向け、既存事業の改善や来年度以降の新規事業の検討を行い、地方創生の取組を市をあげての取組として実施すること。

一 基本目標について

1 基本目標 1（住みたいまちに）について

「住みたいまち」の実現に向け、市民とともに努力していることがわかるように、移住者だけでなく、地元でがんばる人の取組にも光を当て、市内外への情報発信を充実させること。そのために、市役所において適切な情報の共有と発信が行え、養父の魅力を統一感のもとに発信できるように情報発信のあり方と体制を抜本的に見直すこと。特に、SNS 等の有効性を踏まえ、市民の参画による情報発信についても戦略的に展開できるように検討を行うこと。

2 基本目標 2（チャレンジしたいまちに）について

企業はもとより市民を含めた幅広い対象の仕事づくりや雇用創出につながる新たな挑戦を積極的に応援するために、全ての職員が養父市の窓口として支援事業の理解を深めるよう努めること。また、市の事業・制度だけでなく、他の行政機関や金融機関、商工会、NPO 等の関係団体と連携した切れ目のないサービスを提供することができるように、効果的かつ実質的な連携、支援のあり方の確立に向けて現状の改善を図ること。

3 基本目標3（子育てしたいまちに）について

身近にある農のある暮らしの意義や魅力、コミュニティでの仕事や活動経験を通して、自ら地域に主体的に関わっていく大切さを学び、地元でがんばったり、市外で生活していてもやがては養父に帰ると考える人材を一人でも増やすことが重要である。市内の学校と協働した養父の「ひとづくり」に着手するべきである。また、そうした取組を通して「田舎のことは気にせず都会に出ろ」と若者世代を送り出してきたこれまでを見直す機運の醸成に努めること。

4 基本目標4（健康長寿のまちに）について

健康で、はつらつとした生活を若者から高齢者までが営めるように、市民の健康への関心を高め、健康づくりに取り組めるように工夫を凝らした施策・事業を実施すべきである。特に、普段あまり運動をしない、運動には興味が無いという人に焦点を当て、日常生活の中で楽しみながら継続できる取組や、介護予防を意識したコミュニティをあげた取組の一層の強化に努めること。そうすることで、現在の KPI では把握できない長期的な視点での成果を生み出すことが期待される。

一 持続的な取組に向けて

地方創生の取組は戦略策定段階から3年目を迎え、国の基本方針でも新たな展開が求められている。今後2060年を展望し長期にわたる取組を持続させるための足下を確かなものにするために、次の点に配慮する必要がある。

1 「養父の魅力」の共有化

施策・事業の中で「養父の魅力」という言葉が多用されているが、実際のところ“養父らしい”とは何か漠然として施策・事業のレベルに下ろすには至っていない。新たな展開が求められている今だからこそ、どのようなまち、仕事、子育て環境、高齢社会をつくるのか、具体的で皆が共有できる養父市の魅力を皆で考えておくことが重要である。そうすることは、各年度の施策・事業の質的向上や地方創生を次のステップに進める重要な視点を与えてくれるものと考えられる。

2 取組のプロジェクト化

総合戦略の中では、「施策のプロジェクト化・重点化」が掲げられている。その中で個々の施策の実施と KPI の達成だけでは十分な成果を出せないとの認識のもとに、既存の取組、市民の取組との協働を上手く結合して施策をプロジェクト化し実行することとしている。現時点ではその取組がなされているとは言えないため、例えば、「養父の魅力」の共有化と併せて、基本目標1で指摘した情報発信について、職員が担当を超越住民も巻き込み協働するプロジェクトの検討等、十分な成果が見込まれるものから取り組んでいくべきである。

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生
総合戦略検証委員会委員名簿

<敬称略>

分野	氏名	所属
【学識経験者】	畑 正夫	兵庫県立大学
【移住に携わる関係者】	西垣 憲志	一般社団法人 田舎暮らし倶楽部
【商工業関係者】	小田垣 縁	八鹿畜産
	八木 敏之	平安油脂化学工業（株）
【子育てに携わる関係者】	衣川 益子	NPO 法人りとるめいと
	田村 麻里奈	女性農業者
【自治組織関係者】	上垣 俊朗	自治協連絡協議会
【金融機関】	宮垣 健生	但馬信用金庫